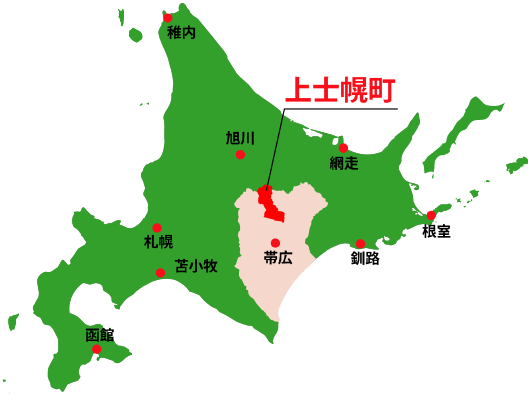
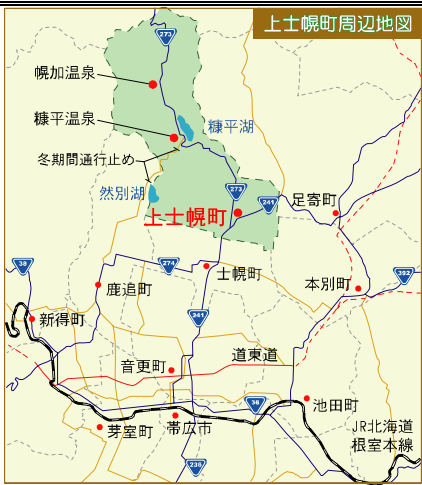


平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	既存資源を活かした産官民連携によるまちづくり組織「上士幌コンシェルジュ設立」プロジェクト
対象地域	北海道河東郡上士幌町
対象地域の概要	 【位置図】  【周辺地図】  【人口の減少が進む町なみ】  【H20 年度に新築された生活体験専用住宅】
提案内容の概要	地元民間業者や協力者からなるまちづくり組織「上士幌コンシェルジュ」を設立し、既存の資源(人的・自然・食・施設等々)を最大限に活用したコミュニティビジネスとして持続的かつ安定的な運営を図る。そのための各種モデル調査及び、実証実験を実施し、都市と農山村の共生・交流を目的とした移住・定住事業等を促進する。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	上士幌町では、平成16年度に、健康・環境・観光をキーワードに、町の豊富な地域資源を活かし、その効果を科学的に検証しながら、各々の地域資源について付加価値を高め、都市と農山村との共生・対流による地域活性化を図る「イムノリゾート上士幌構想」を策定し具体的施策を展開してきた。 その一つである移住・定住促進については、役場内に移住ワンストップ窓口を設置し、ホームページ等による情報発信や各種問合せや相談に積極的に対応するとともに、生活体験モニター事業を実施するなどして、移住希望者の立場に立った事業を展開してきた。平成19年3月には、商工会や農協などにより、行政と連携して本町の移住・定住事業を進めるため「上士幌町交流と居住を促進する会」が設立され、首都圏プロモーション、不正形等農地・空き家調査、モデル住宅プラン作成等を実施している。その結果、徐々にではあるが移住・二地域居住者や生活体験モニター参加者が増加している。 また、平成19年度からは、株式会社都市デザインシステムが主体となり、首都圏のファミリーを対象に、行政や地域住民と連携し、町内の廃校跡を活用しながら様々な体験活動を通して都市住民と地域住民との交流を進める林間学校も始まっている。 現在、これらの事業はそれぞれ、行政、地元団体等、民間企業などが単独あるいは連携して実施しているが、より効率的かつ有効な取組みとするためには、全体をコーディネートしながら主体的に事業を実施する地元民間事業者や地元住民の協力者からなる、まちづくりのための組織「上士幌コンシェルジュ」の立ち上げが必要である。 本モデル事業では、都市と農山村の共生・対流を目的とした事業の実施を通して、上士幌コンシェルジュの立ち上げと、その持続的かつ安定的な運営を目指す。

(2) 活動内容の案	活動① ：上士幌町コンシェルジュの事務局を担う人材の募集
	内容 ：平成16年度より上士幌町にて推進している移住促進・二地域居住は、過疎及び少子高齢化対策に、重要な施策である半面、下記活動内容に掲げたような「ソフト面」の充実無しには成立しない難しさがある。また、このような「ソフト面」を行政が運営することにより求められる「公平性の維持」が障害であり、対策を推進する為の構造的欠陥であった。提案内容は「民」が主体となったオペレーションに転換することで、よりクオリティの高いサービスを充実させると共に、ヒト・モノが循環することによる永続的な仕組みとし、 <u>地域的・地理的・人的資源の活用による、観光・体験・移住を軸とした永続的なまちづくり</u> を実証する。 1) 上士幌町コンシェルジュの事務局を担う人材の募集を実施。20年度の問題点から手法を検証し告知実施を行い、町外からの公募も視野に入れ広く人材を募集する中、協力者を募り「ボラバイト」(ボランティア+バイト)等の手法も可能か等の検証も行う。
	活動② ：旅行代理店事業の具体的検証
	内容 ：首都圏及び道内、海外へ向けた新しい体験型観光商品の提案として、「食」「学ぶ」「体験」をキーワードに廃校の校舎を利用した林間学校を軸に上士幌町の魅力を発信。子ども等を媒体とした林間学校をはじめ、ターゲットを絞った観光商品の企画により、都市と農山村の交流を進めることで地域活性化を図り、新しい観光商品とする。 1) 過去4回実施の町有資産である廃校の旧豊岡小学校を利用した「とよおか林間学校」にて蓄積した旅行メニュー・体験型ガイドツアーメニューを系統化し、実施主体・実行予算の目安・販売販路を具体的に策定、商品化への道筋をつける。
	活動③ ：新商品開発・物品販売事業の検証
	内容 ：地元外に流通していない商品の販路拡大、来訪者へのお土産開発により地域経済活動の活性化を図る。 1) 平成20年2月実施の上述林間学校にて試作品の制作と試食会を実施したジャガイモを利用した商品の具現化。パッケージを含めたブランディングデザイン・製造・販路の各種問題点を検証。
	活動④ ：不動産管理事業検討
	内容 ：移住・定住・二地域居住者向け住宅の充実を図る事で、居住者及び来訪者の増加を図る。 1) 20年度に建設されたモデル住宅を町が管理している状態から、今後コンシェルジュで管理を実施できるよう、具体的な事業計画及びスキームを検証し策定する。
	活動⑤ ：上士幌町移住促進プロモーション事業実施
	内容 ：町内の魅力をアレンジしてより魅力的にPRし、移住等希望者に対するより有益な情報提供やきめ細かな対応を行うことにより、居住者や来訪者の増加を図る。 1) 20年度作成のモデル住宅ホームページ及び町作成の「まちプロ」を積極活用して、上記各事業の内容を効率的にホームページ及びブログで発信する。また各種メディア広告の効果的な手法を検証し、目的に応じてメディア及び会員組織等の利用を系統化することを実施。
応募団体名	カミシホロチョウコウリユウキョジョウ ソクシン カイ カミシホロチョウ 上士幌町交流と居住を促進する会 上士幌町
リンク	
部局／担当者名	(事務局) 上士幌町役場企画財政課 ひと・まちづくり担当 主査 須田 修
連絡先	01564-2-2111 (内265)
推薦市町村名	北海道上士幌町